

実り豊かな生活文化都市

中央市

議会だより

2007年9月1日発行

第6号

発行 山梨県中央市議会

発行人 議会議長 河西俊彦

編集 議会広報編集委員会

体感震度6!!



リバー第3自治会防災訓練(起震車)

政務調査費を交付

■ 6月定例会で決まったこと	2～5
■ 市長の行政報告	6
■ 一般質問に14議員	7～13
■ 委員会レポート	14～15
■ 市民の談話室・編集後記	16

平成十九年中央市議会第二回定例会は、六月二十日～二十八日までの九日間の日程で開催されました。

平成十九年度一般会計補正予算をはじめ、条例制定二件、条例改正六件、補正予算七件、路線認定・廃止それぞれ一件、契約案件一件、和解案件一件が提出されたほか、専決処分七件、報告が七件ありました。専決処分・契約案件を除いて常任委員会に付託され審議しました。

専決処分、契約案件は初日に承認・可決し、その他の議案は最終日に原案のとおり可決しました。また、一般質問には十四人の議員が登壇し、市政の諸問題について質問しました。

条例制定

議会活動の活発化

充実をめざし



県市議会議長会議員合同研修会

政務調査費を交付

— 月額1万円 用途は透明に —

中央市議会政務調査費の交付に関する条例制定

地方自治法の規定により、

議会の活動の充実を目的として政務調査費を交付するものです。

政務調査費は、地方自治法第一〇〇条第十三項及び十四項の規定に基づき、

議員の行政全般にわたる調査研究、活動報告等にかかる経費の一部として交付されるものです。

議会の審議能力や政策提案能力を強化していくことは、市民福祉向上の上で不可欠であり、議会の調査活動の充実を図る観点からも必要で、今回新たに条例化し、政務調査費の交付を受けることに決定しました。

なお、その用途の透明性を確保するため、領収証の添付などについて規則で定めました。

また、精算時に残余がある場合は返納することとなっています。

○交付方法 半年毎に、六ヶ月分を交付。

○金額

一人に対して月二万円。

○支出できるもの

1、調査研究費

・研修会の開催、参加経費

2、調査旅費

・先進地等の調査経費

3、広聴広報費

・活動報告を市民へ報告する経費

・市民からの市政に関する要望、意見等を把握する経費

4、資料作成費

・調査研究活動の資料作成経費

5、資料購入費

・図書等購入経費

6、事務費

・事務用消耗品費

7、その他の経費

・右記以外で調査活動に必要な経費

○支出できないもの

1、慶弔費等交際費にかかる経費

2、党その他政治団体にかかる経費

3、選挙活動にかかる経費

4、会議に伴う飲食代（飲酒、食事代等）

5、海外視察経費

6、人件費

7、寄付金

8、備品の購入、リース代

9、会派の親睦等の経費

10、会派の事務所の設置管理費

11、その他、調査活動に必要な経費

中央市選挙公報の発行に関する条例制定の件

本市の議会において選挙市長の選挙において選挙公報の発行をするもの。

議案と

条例改正

議員など特別職の報酬を改定

市議会議員の報酬及び費用弁償等に関する条例の改正

地方議会の複雑多様化及び議員にかかる職務、職責の増大と市特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、報酬月額を改定するもの。

特別職の職員で常勤のものとの給与及び旅費に関する条例の改正
市政施行に伴う職務の多様化、職責の増大と市特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、給料月額を改定するもの。

教育委員会教育長の給与勤務時間その他の勤務条件に関する条例の改正
市政施行に伴う職務の多様化、職責の増大と市

議員、特別職、教育長等の報酬、給与等改正の内容

役職等	改正前	改正後
議長	280,000円(月額)	330,000円(月額)
副議長	214,000円(月額)	300,000円(月額)
議員	177,000円(月額)	290,000円(月額)
市長	740,000円(月額)	780,000円(月額)
副市長	590,000円(月額)	610,000円(月額)
教育長	565,000円(月額)	570,000円(月額)
監査委員(識見)	153,000円(年額)	200,000円(年額)
監査委員(議運)	140,500円(年額)	150,000円(年額)
田富よし原処理センター特別審議会委員		5,000円(年額)
水道水源保護審議会委員		5,000円(年額)

特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、給料月額を改定するもの。

特別職の職員で非常勤のものとの報酬及び費用弁償に関する条例の改正
田富よし原処理センター特別審議会委員及び水道水源保護審議会委員の報酬額を新たに定めるため、また監査委員の報酬額について、市政施行に伴う職務の多様化、職責の増大と市特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、報酬年額を改定するもの。

国民健康保険税率の改正
国民健康保険税率について、今年の八月一日の本算定に伴い、国民健康保険税率及び軽減額を改定するもの。

国保税率を改正

国保税率改正の内容

区分	医療費給付費分				介護給付費分			
	19年度	18年度			19年度	18年度		
	中央市	旧玉穂	旧田富	旧豊富	中央市	旧玉穂	旧田富	旧豊富
所得割	5.80%	5.15%	4.80%	5.20%	0.94%	0.67%	0.90%	0.55%
資産割	35.00%	39.00%	35.00%	30.00%	4.80%	6.20%	2.70%	3.00%
均等割	28,000円	24,000円	26,000円	18,000円	7,400円	6,200円	7,200円	6,000円
平等割	32,000円	30,000円	32,000円	24,500円	3,000円	2,600円	2,100円	3,600円

中央市消防委員会条例の改正
消防委員会を運営するにあたり、組織の見直し

を必要があるため、条例の全部を改正するもの。

19年度 補正予算7件を可決

一般会計 118億1086万円に

中央市一般会計補正予算

(第一号)

二億五、二四五万七、〇〇〇円を追加し、歳入

歳出予算の総額が一一八

億一、〇八五万七、〇〇

〇円となりました。

▼おもな補正予算

・地域密着型サービス拠

点施設整備費補助金

五、五〇〇万円

・中山間事業での大鳥居

農道負担金、た・から

農産物直売所補助金

一、九五〇万円

・田富畜産振興協議会堆

肥施設移転補助

一、一六五万円

・産業立地助成

九、〇〇〇万円

・シルクの里公園ふわふ

わドーム張替え工事

一、五〇〇万円

・玉穂中学校大規模改修

工事に伴う施設整備

三、三五〇万円

中央市老人保健特別会

計補正予算 (第一号)

八五六万五、〇〇〇円

を追加し、予算の総額が

一九億四、八八四

万五、〇〇〇円と

なりました。

中央市地域包括支

援センター特別会

計補正予算

(第一号)

七、七五五、〇

〇〇円を追加し、

予算の総額が三、

五三三万六、〇〇

〇円となりました。

中央市簡易水道事

業特別会計補正予

算 (第一号)

一、八三二万八、

〇〇〇円を追加し、予算

の総額が一億四、三四一

万六、〇〇〇円となりま

した。

中央市下水道事業特別会

計補正予算 (第一号)

二、四八二万四、〇〇

〇円を追加し、予算の総

額が一億一、六四万六、

〇〇〇円となりました。

中央市農業集落排水事業

特別会計補正予算

(第一号)

二、六四九万八、〇〇

〇円を追加し、予算の総

額が三億一、六六七万二、

〇〇〇円となりました。

中央市土地画整理事業

特別会計補正予算

(第一号)

九四〇万円を追加し、

予算の総額が八億五、一

八〇万円となりました。

市道路線の

認定・廃止

中央市道路線認定の件

市道の四路線を認定す

るもの。

中央市道路線廃止の件

市道の一路線を廃止す

るもの。

アンケート用紙偽造事件

和解を認める

記名投票の結果

賛成=11

反対=9

棄権=1

■賛成 十一名

名執義高 伊藤公夫

石原芳次 田中健夫

内藤進 福田清美

保坂武 大沼芳樹

一瀬満 田中一臣

山本国臣

■反対 九名

関 敦隆 小沢 治

一瀬 明 小池満男

長沼辰幸 井口 貢

宮川弘也 設楽愛子

山村 一

■棄権 一名

野中つね子

賛成討論(要旨)

司法の場で事件は解明され、偽計業務妨害罪として罰金刑が確定している。今後、民事訴訟を起こして争うにも費用が発生する。また、議会は行政と住民との争いを調停する役目がある。よって早期に和解することに賛成する。

反対討論(要旨)

事件の全容が明らかになっていない。市・市民に対する謝罪に誠意が見られない。謝罪方法・金額五〇万円は妥当でない。よってこの和解に反対する。

和解の件

玉穂、田富、豊富の旧

三町村合併の是非を問う

住民意向調査の調査票偽

造事件について、和解を

するもの。

▼和解の額

六二万五、〇二〇円

井口議員、小池議員、

一瀬明議員より反対討論、

伊藤議員、名執議員より

賛成討論があり、記名投

票の結果賛成多数で可決

しました。

「た・から」農産物直売所



議案と

玉穂中の大規模改造工事

契約を承認

▼契約締結の件

工事名
中央市立玉穂中学校大規模改造工事

契約金額

三億八、八五〇万円

契約の相手方

齊藤建設(株)・依田工務店中央市立玉穂中学校大規模改造工事共同企業体

契約締結

3億8,850万円

専決処分7件を承認

中央市税条例中改正の件
地方税法等の一部改正に伴い、固定資産税・たばこ税等の改正を行うもの。

(第四号)

七、一〇三万九、〇〇〇円となりました。

平成十八年度中央市介護保険特別会計補正予算

中央市国民健康保険税条例中改正の件

地方税法の一部改正に伴い、国民健康保険税の上限額を五三万円から五六万円とするもの。

平成十八年度中央市一般会計補正予算(第五号)

五、九四〇万四、〇〇〇円を減額し、予算の総額が一億四、四〇九万七、〇〇〇円となりました。

平成十八年度中央市一般会計補正予算(第五号)

〇円を減額し、予算の総額が二億九、七五七万三、〇〇〇円となりました。

平成十八年度中央市国民健康保険特別会計補正予算(第四号)

減額し、予算の総額が一〇億五、六五八万八、〇〇〇円となりました。

五、二五〇万円を減額し、予算の総額が二四億

報告 繰越7件

平成十八年度中央市土地区画整理事業特別会計予算繰越明許費の件

平成十八年度中央市一般会計予算繰越明許費の件

繰越四億二、二二六万五、八〇〇円が翌年度へ繰り越されました。

平成十八年度中央市簡易水道事業特別会計予算繰越明許費の件

繰越一億一、五五六万円が翌年度へ繰り越されました。

平成十八年度中央市下水道事業特別会計予算繰越明許費の件

繰越三億一、〇〇〇万円が翌年度へ繰り越されました。

平成十八年度中央市一般会計予算繰越明許費の件

繰越二億五、九一一万七、九四一円が翌年度へ繰り越されました。

平成十八年度中央市一般会計予算繰越明許費の件

繰越二、二五七万五、〇〇〇円が翌年度へ繰り越されました。

平成十八年度中央市下水道事業特別会計予算繰越明許費の件

繰越五、四六六万円が翌年度へ繰り越されました。



工事中の万年橋

大規模改造工事中の玉穂中

生活習慣病・健康改善 プログラムを実施

6月定例会

田中市長の行政報告

1 簡易水道水白濁 損害賠償請求

豊富地区の簡易水道水の白濁にかかる損害賠償請求は、三月二十六日付で破棄処分をした製品について、損害額二、〇五七万八千七百円に対する損害賠償請求書が送られてきた。この請求に対する市の考え方を、株式会社シャトレーゼに送付し、損害賠償に応じられないとの回答をした。今後は簡易裁判所での調停の中で、損害賠償の有無について判断を仰ぐ。

2 医大南部土地 区画整理事業 カインズ訴訟

株式会社カインズは、

県に出されていた行政処分の不服申し立てを取り下げ、甲府地裁に医大南部土地区画整理事業商業施設プロポーザルの仮決定に基づき、商業施設の建設・運営を行う地位にあることの仮処分命令申立書と、地位確認請求事件の訴状を提出した。勝



つどいの広場「笑」

3 スーパー街区に 出店するロック 開発関係

横内知事に概要を説明し、了解をいただいた。全体の店舗面積二万四、四〇〇平方メートル、物販面積一万九、四〇〇平方メートル、バックヤード面積七〇〇平方メートル、非物販面積四、三〇〇平方メートルとなる。

4 地域ICT利活用 モデル構築事業

総務省の委託事業として採択を受けた。山梨大学の協力をいただき、高

5 玉穂福祉・保健・ 教育拠点施設・ 子育て支援施設

拠点施設の工事は順調に進んでいる。また、六月にオープンした子育て支援施設「つどいの広場笑(えみ)」も順調にスタートした。毎週水曜日に開設している。

6月
定例会

一般質問

14議員が登壇

六月定例会では十四人の議員が一般質問に立ち、二五項目にわたって市の方針をたえました。この記事は質問・答弁を要約したものです。

Q 指名競争入札 参加業者の状況は



小池満男 議員

ほか1件

小池議員 県では十九年度から一千万円以上は一般競争入札を決定した。中央市では入札制度改革委員会より答申を受けているが、取り組み時期等について具体的な回答が

なされず、しかも、入札価格が三千万円以上には納得できない。

市内業者の指名競争入札への参加状況
十八年度から本年五月までの入札件数、落札率、上位一〇社の個別落札総金額
一般競争入札試行実施

価格三千万円以上の根拠
一般競争入札実施時期
指名実績は
55業者中28業者

田中市長 市内五五業者中、指名実績があるのが二八業者。工事規模、工種、地域条件、経営規模等により業者選定し、入札に参加。
件数は工事九〇件、委託三〇件、落札率九四・二二%、上位一〇社の総金額六億八、九五一万円、一二市中一三〇万円、一三千万円、五千万円、一

億円以上が各一市、一億五千万円以上が三市、三億円以上が一市、導入していない市が四市ある。
一般競争入札試行時期については、早急に試行要領を定め、準備を進める。

Q 主要河川の災害（水防）対策は
問 中央市は、甲府盆地の河川の集積地として、過去、甚大な被害を被ってきた。清川、鎌田川等の改修、排水路工事で冠水被害解消の見通しができたが、環状線や昭和町

常永地区の大規模開発による排水計画で不安が持ち上がっている。行政の対応と対策を伺う。
清川、東花輪川、常永川、宇坪川への新たな排水計画の影響（環状線、常永地区大規模開発）。

Q 降雨強度五〇年確率で調整池設置
市長 常永地区大規模開発の影響では、生活排水系は公共下水道施設を整備し、下水道に排出。

雨水排水は清川、東花輪川、常永川の三水系に分けて排出。河川砂防計画における一〇年確率の降雨強度に対応できる構造だが、降雨強度五〇年確率として調整池が設置される。

環状線の雨水排水は、宇坪川、清川へ。また透水性舗装等大雨時の洪水対策に配慮した計画で施工方法を中北農務事務所

Q 中巨摩広域焼却場 西南の開発は



田中健夫 議員

ほか1件

田中議員 鎌田川の改修工事に伴い、中巨摩広域焼却場西南の開発で、現在の焼却灰の置き場がなくなるが、スポーツ公園は玉穂地区に完成を見ている。十八年度には広範

A 将来計画は 十分検討

圃に測量も済んでいるが、今後の見通し、構想を伺う。

市長 中巨摩地区広域行政事務組合は、昭和五十年十一月に、中巨摩郡下一〇町村が共同してごみ処理等を実施することを

目的に設立、昭和五十三年四月、焼却施設と不燃物処理施設の運用を開始した。その後、付帯施設として老人福祉センターや地区公園等を整備し、昭和六十二年に不燃物処理施設の粗大ごみ処理施設への改造、平成九年には焼却施設の大規模改修などを行ってきたが、施設の老朽化が進んでいる。昨年の測量は老朽化した施設をどうするか、基礎資料として行ったもので、平成二十五年の有効期限後の、具体的な施設計画等

Q 保育園・小中学校 にセキユリティー システムの設置を

将来計画は構成市町村長による管理者会議の中で十分検討していく考えだ。

問 学校施設内外の生徒・児童を狙った犯罪が多発している。自治体は無防備な子どもたちを守るため、積極的な防犯策を講じ、セキユリティーシステムアップによって、子どもと先生の安全を守ってほしい。セキユリティーシステム設置の検討を。

A 有効な対策を 講じたい

市長 安心・安全な園児・児童の環境づくりが求められている。保育園では門扉や正面玄関の出入り口には必ず施錠を行い、教室には火災通報装置を利用した、非常通報装置による警備会社への緊急連絡など、安全確保にさまざまな取り組みを行っている。

小中学校では児童・生徒の安全確保のため、スクールガードリーダーや

子ども見守り隊によるパトロールなどを実施している。また、防犯訓練、危機管理マニュアルの作成等の対策を講じている。セキユリティーシステムの導入は財政状況も含め、児童・生徒の安全のために有効な対策を検討していきたい。

Q 安全・安心なまちづくりを

ほか1件



長沼辰幸 議員

長沼議員 交通事故の発生抑制は、まちづくりの優先課題でもある。情報収集と啓蒙、道路の凹凸の補修、障害物の除去、表示看板の設置等、市の方針である安全・安心な

まちづくりについて伺う。街灯、防犯灯の点検は、市役所管理と自治会管理のゾーンがあるが、設置状況と管理に地域格差がある。行政のリードが必要だ。田富庁舎周辺の安全・安心を。洪水対策について伺う。

A 効果的な対策を推進する

市長 十八年中の交通事故発生状況は二四二件、女性が一四九件、六一・六%、高齢者とあわせ全体の八三・五%を占める。従来の交通安全対策を基本に、発生した交通事故に関する情報収集・分析を行い、効果的な対策を推進したい。自治会、安協警察署などとも連携を強化し、道路補修についても予算確保も考え、計画的に進める。表示看板につ

いては、現地調査を要望に添える。玉穂地区では防犯灯管理区分を把握し、管理台帳が整備されている。田富地区は十九年度、豊富地区は二十年度に作成する。田富庁舎駐車場は、図書館・福祉公園利用者を優先し、職員の駐車規制で対応している。テトラポットの増設や浚渫等、関係機関に要望。洪水ハザードマップ作成は、十九年度中に作成する予定。

Q 自然を生かした遊び場を



関 敦隆 議員

関議員 山梨県では、子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むことを目的として「豊かな体験活動推進協議会」が発足して五年目を迎える。

命の大切さを学ぶ体験活動。遠くのまち体験活動。仲間と学ぶ宿泊体験活動の4部門で、県が推進校を指定し、文科省が費用を負担する。昨年は田富小、今年から豊富小と玉穂中が指定された。なぜ国はわざわざ膨大



自然で遊ぶ子どもたち

な予算を付け、教育現場でさまざまな体験をさせ

るのか。怪我をする子の増加、体力の低下、疲れやすくなったこと、社会性の欠如など、子どもたちの状況が危機的だからだ。小学生の放課後の遊びは、一時間未満、半数以上が室内でゲームなどしており、自然の中で遊んでいるのは一割に満たないとの調査がある。その結果、同年齢以外の人など、多様な人々との交流が著しく少ない。自然を生かした遊び場が早急に必要だ。市長の考えを伺う。

A 恵まれた自然環境と人材を活用して取り組む

市長 本市には、緑豊かな山々、釜無川と笛吹川があり、田園も多く、自然環境に恵まれている。子どもたちは、魚釣り、キャンプ、アウトドアスポーツ等を体験しながら、自然に対する関心や自然保護への理解を養い、心豊かな人間が形成されるだろう。旧町村の各地域には、ある程度自然を生かした

親子で遊べる公園や神社の広場がある。これらも活用し、自然体験ができるプログラムを考案したり、専門的な知識や、豊富な経験を持つ指導者に協力をお願いし、安全に配慮した自然と触れ合う機会を増やしたい。他人を思いやる心、社会に奉仕する心が自然に身に付くよう、家庭や地域でその姿勢を見せることが大事であり、子どもたちが道徳心・正義感が持てる教育の取り組みに努力する。

Q 環境保護について

問 市の鳥「しらさぎ」保護を前面に打ち出しての規模、河川の清掃美化運動の推進啓蒙、広域下



市の鳥しらさぎ

A 生態系の保全を図る

市長 中央市環境美化運動を市民に呼びかけ、環境意識の高揚に結び付けたい。下水道については、戸別対応や排水設備工事資金融資の斡旋などで、早期接続を促進したい。しらさぎ飛来の定点観測は、遊歩道・水辺空間づくりを行い、生態系の保全を図っている。

Q 医大南部区画整理 の現状は



一瀬 満 議員

一瀬議員 「返済に税金が使われるのか」「特例債で払うのか」といった声を聞く。区画整理事業への市民の協力を得る上で、事業費の内訳、市債発行の現状、核となる誘致企

業変更の経緯などについての理解は欠かせない。事業の進捗状況と、今後の見通しについて、伺う。市債残高について。カインズ撤退とイオン系企業との契約について。保留地の売却について。

A スーパー街区の 完成に全力を傾注

市長 事業費九三億円のうち、保留地処分金として一八億八、五〇〇万円を想定し、つなぎ資金として市債を充て、売却時に一般会計に返済する計画。旧玉穂町では、地域開発事業債七億四、四一八万九千円を発行。現段階で一億九、八二二万九千円を返済し、残高は五億四、五九七万円。今年度、スーパー街区の保留地を約四億三、二〇〇

万円で売却し、一部を返済に充てる予定。十三年に旧玉穂町が、プロポーザルにより数社の中からカインズを仮決定。その後、明確な出店確約書の提出がなく、賃料の変更も度重なる等、地権者との信頼関係をなくした引き継いだ中央市は、まちづくり三法のタイムリミットが迫る中、スーパー街区の成立を第一とし、地権者の声を踏まえ、仮決定取り消しという苦渋の決断をした。

新企業ロック開発とは
二種類の契約がある。一つ目は、約二、〇〇〇坪の保留地の売買契約。測量で面積が確定次第締結の予定。二つ目は、将来の道路用地約三、八〇〇坪の賃貸借契約。坪当たり月五〇〇円で、十年契約。工事着工より来年九月の開店前日までは一五〇円。現在の執行状況は、八月に建築確認申請、大店立地法の届け出、まちづくり三法の期限、十一月二十九日までの着工を目標して各種作業を進めている。

十八年度末で六〇区画を売り出し、二八区画四億二、九〇四万一千円で売却した。保留地のPRを、毎週日曜日の区画整理分室開設、市の広報・ホームページ、新聞広告、チラシ配布等で進めているが、一番効果があるのは、スーパー街区の完成、商業施設の開店であり、これらに全力を傾ける。

Q リニア中央エクスプレス 駅誘致を



宮川 弘也 議員

ほか1件

宮川議員 「リニアは実験だけで終わるのではないか」といった受け止め方もあるなか、本年四月JR東海が二〇二五年の開業時期を明示した。本市周辺には、身延線

A 全市一体と なって誘致

の三駅、常永、小井川、東花輪があり、JR側から見て、既存路線近くでの駅設置の可能性がある。今後の、中央市へのリニア駅誘致活動について伺う。

Q 都市計画道路 中央通り線について

問 スーパー街区出店企業ロック開発が二十年夏に

エクスプレス甲府圏域建設促進協議会で、早期実現に向けた活動を展開している。営業線ルートは、実用レベル仕様での全線建設を目指している。実験線が、ベースになることが見込まれるため、ルートが具体的に検討される折には、本市への駅建設を含め、国などに強力に働きかけたい。



中央通り線 若宮北交差点（）

A 道路のメリット に応分の負担

市長 全長二、〇一〇mのうち、中央市は四一六m、約八割の一、五九四mを昭和町区間が占めている。甲府市や甲斐市などの北

昭和町の昭和バイパス交差点までの中央通り線は、山梨大学附属病院、中央市商業施設への流出入の機能を果たす主要幹線道路だ。完成を目指してJR東海、昭和町、中央市として早急の対応をすべきだ。

部地域から、昭和町の中心部を縦断し、中央市への流入入機能を果たす、主要な幹線道路であることのメリットを考えると、昭和町に対し応分の負担を検討しなければならない。身延線越えを含め、建設事業費は相当見込む必要がある。現在、昭和町には常永土地地区画整理事業による大型商業施設の問題があり、この動向を見ながら施工に向け、協議を進めたい。

Q 医大南部土地区画 整理事業について



山村 一議員

山村議員 この事業は合併とともに、中央市が引き継いだ大事業である。地域の活性化、税収・雇用面を含んだ新市の創造また中長期にわたる施策展開をしていく上でも、

絶対に成功させねばならない。保留地の早期処分、未完成区域の工事着手、スーパー街区への出店企業の問題などを、どのように認識して事業を進めるのか、三点について伺う。スーパー街区の地権者に対し、現況説明と理解は十分になされているのか。

行政施工の本事業が、合併当初からなぜ「ロック開発」ありきでスタートしたのか。カインズの訴訟は、経営感覚を持つて考えれば予見ができ、回避も可能ではなかったか。高い代償を税金から支払わなければならなかったとき、市民にどのように理解を求めるのか。

A 事業完成で 市民生活の 利便性向上を

市長 スーパー街区賃

貸地権者全体会議を、現在までに三回開催し、説明のあとに必ず質疑応答の場を設け、理解をいただけるよう努めている。会議の他にも、ロック開発と個別で直接お話できるよう対応している。

昨年四月、市長就任直後に開催された第七回カインズスーパー街区地権者説明会の折り、地権者とカインズとの関係が、大きく崩れていることに正直驚いた。地権者の最終的な意向調査の結果を踏まえ、カインズに対し

仮決定の取り消しという苦渋の決断をした。プロポーザルでの再募集も検討したが、まちづくり三法の期限までに、工事中は間に合わない

と判断し、地権者からの要望書も踏まえて、昨年十二月、マックスバリュ―東海からの申し入れを受けた。当初からロック開発ありきで進めたわけではない。

信頼関係を損ない、仮決定の取り消しの原因を作ったのはカインズ自らであり、勝訴に向け全力

を尽くす。この先、損害賠償請求訴訟となった場合でも、この間の経緯からして裁判で認められるとは考えていない。市民の皆さまには、スーパー街区の完成により、雇用機会の拡大、地元物産品の増収、生活の利便性の向上などにより、十分理解いただけるものと考え

Q 指定管理者に ついて問う



小沢 治議員

ほか2件

小沢議員 指定管理者制度を導入し、道の駅、公園ふれんどりい等で実施している。九カ月経った現在問題はなにか。ふれんどりいの終了時間は午後十一時から九時になり、駐

車場案内は、シルクの里公園の俗称を大書した看板が置かれ、公園のふわふわドームは、しばらくだまま利用できない日が続いた。素早い対応はできないのか。

ふれんどりい
「シルク工芸館ふれあい館

A ふわふわドーム 張り替え工事費 を予算計上

市長 ふれんどりいは、経費節減のため終了時間を繰り上げた。看板は公園利用者の路上駐車規制のため、愛称名を使い簡易的に設置した。今後事故のない運営に努める。ふわふわドームは幾度となく補修を行ったが、設置後十三年経過し、すでに補修困難な状態で、今議会にドーム張り替え工事の予算を計上した。

Q 農業振興について

問 農業振興のためのPR方法と、農家や地域にメリットとなる施策は、認定農業者の現況と、退職した農業アドバイザーの補充は、剪定枝等のチップ化について。

A 流通システム づくりを推進

市長 道の駅、た・から等はインターネットや新聞折り込みなどで農産物のPRをし、季節ごと

の収穫体験ツアー、農産物フェアも開催した。経営安定対策の支援や制度資金活用で、主要作物の振興を図り、流通システムづくりを推進する。

認定農業者数八十七人田富地区で新たに二〇人が認定される予定。果樹専門の農業アドバイザーの採用を検討している。

チップ化は、単なる堆肥化では先進性が薄い。国庫補助事業として打ち合わせを進めたい。

Q 学校施設について

問 豊富小学校体育館は、耐震診断で、建て替えしか方法がないとのことだが、今後の方針は。

A 二十一年度に 改築を検討

市長 県と協議しているが、二十一年度に財政的に対応できる見込みとなり、改築を検討する。

子育て支援計画策定と サポーター制度の設立は

ほか2件



野中つね子 議員

に養成講座を開設して、「子育てサポーター制度」の設立を提案する。

**A サポートセンター
来年度設立を目指す**

野中議員 自治体は一人の子どもを育てるために、平均二千万円の投資をする。今後の子育て支援計画について聞きたい。市には現在、三〇人の子育てサポーターがいるが、新た

市長 核家族化が進行した今、互いに支え合う子育てが必要になった。相互援助組織としてのファ



離乳食教室

ミリーサポートセンターを、来年度を目安に設立する。保育サービスでも、ゼロ才児の全保育所実施や、未満児保育の拡充を図る。

教育サポーター 制度の導入を

モデル事業を 参考に検討

市長 国・県の試行と検証の成果を活用し、モデル事業を参考に、より効果的に事業効果を上げられるよう検討する。

特別支援教育と 障害への理解と 対応は

問 今年四月より情緒障害教育、教員の増員、教科教育における具体的な指導法をカリキュラムに位置付けることになった

中央市の導入状況と、今後の対応は。

きめ細かな 授業を実施

市長 今年度、小学校に通訳や情報教育指導員等として、延べ一六名を配置した。情緒障害学級の児童は、習熟度別の学習や、普通学級児童との交流など、きめ細かな授業を実施している。県に働きかけ、かがやき30プランを三年生まで延長し、市単独教員の配置を継続したい。

環境問題について

ほか1件



設楽愛子 議員

委員を委嘱。特典にお買い物券を。

容器包装リサイクル法で、リサイクル率は上がったが、ゴミ排出量は減っておらず、コストも増加しているのが現実だ。レジ袋削減のため、マイバック運動を、市民に広く啓蒙してはどうか。また、市の温暖化

設楽議員 市民の要望で、二四時間資源ゴミ収集リサイクルステーションが設置されたが、歓迎されている反面、マナーの悪さも目に付く。そこで、市民公募して、エコ推進

環境対策は市民と 一体で取り組む

総合対策、数値目標はあ

市長 豊富地区では、今年度二九人のエコライフ推進員を委嘱し、積極的なボランティア活動を展開している。玉穂・田富地区は、環境衛生委員を中心に分別収集にあたっている。エコ推進委員の公募については、各地区の問題点を分析し、今後検討する。

マイバック運動の奨励

子育て支援 について

は市内の事業者と連携し、推進し、自治会などの説明会の折に、積極的に周知する。温暖化対策の数値目標は、策定予定の市環境基本計画の中に設定したい。

問 家庭内の暗い事件が多い昨今だが、家族の絆を深める機会をつくることとが解決策のひとつだ。家族との会話やふれあいは子どもたちが求めている。大人は努力をしてでも、

関係機関とも提携 し支援策を講じる

市長 青少年育成県民会議で、毎月第一日曜日

を「家庭の日」として提唱している。これらとタイアップできるか検討する。「初めての絵本の出会いは、お父さんと」と題し、大切な幼児期に、コミュニケーションを深めることができるよう、父親が参加しやすい休日に実施し、図書館・児童館職員がサポートし推進する。県の子育てハンドブックの利用状況や、他市町村の作成状況を調査し検討する。ホームページを活用した、最新情報の提供も併せて検討する。

策定中の 長期総合計画について



名執義 高 議員

名執義員 現在進められている長期総合計画について、以下の三点を構想的柱にする考えがあるが、市長に伺う。

「ユニバーサルデザイン宣言都市」として中央

市を位置付ける。すべての人が使いやすいユニバーサルデザイン化は、地域づくりを推進し、命を大切にされた施策は定住人口を増やし、子育て世代や高齢者にとって住み良い環境を提供する。

ICT（情報通信技術事業）山梨大学と連携し

た生活習慣病改善プランを「癒しの里構想」につなげる。山梨大学医学部の協力で、ICTを活用し、健康改善プログラムを実施。恵まれた自然環境、既存の福祉拠点・温泉施設を利用した総合的な予防医療、プライマリケア（地域や生活に密着した医療）を目指す。

地球温暖化防止宣言と、エネルギー改革を位置付ける。地球温暖化の影響はすでに身近に感じられ、特に、農作物への影響や水環境の変化が案じられる。

環境対策の要として、自然エネルギー推進、「ストップ・THE・地球温暖化」宣言する。

総合計画に各方面の意見を反映

市長 既存の公共施設のバリアフリー化を進め、新たに整備する施設には、多様な市民が利用しやすいよう、ユニバーサルデザインの考えを導入する。シヨッピングセンターなどにも、計画段階で要請する。

総務省のモデル事業と

して、市が導入を計画しているのは、山梨大学医学部が開発した生活習慣病予防ソフトに基づき、市民を個別に支援するもので、利用者は携帯電話、パソコンから体重や運動量などを送信し、そのデータを受けた保健師や医師が、健康管理計画を作成実践して医療費削減につなげる。事業終了後、本システムの継続がされた場合、検討したい。

自然エネルギーの活用を含む、地球温暖化防止対策については、総合計

画に反映したい。また、現在建設中の玉穂の福祉・教育拠点施設には、太陽光発電を設置し、公用車の更新時は、バイオマス燃料を使用する低公害車、アイドリングストップ車の導入を検討する。

入札・契約制度について

ほか1件



福田 清美 議員

された。試行時期と具体的な内容は、

福田議員 入札契約制度について伺う。

本年二月二十六日、入札制度改革委員会より、入札契約の透明性や公平性を確保するための、入札制度改革大綱案が提出

一般競争入札のメリット、デメリットを精査した上で、工事施工の質、技術力等を確保し、信頼し得る業者を選定する観点から、地域貢献度、あるいは評価システムに基づく選定条件の整備が必要では。

総合評価方式の導入を検討

市長 早急に、一般競争入札の試行要領を定め、施行できるようにしたい。具体的な内容は、試行要領の準備が整い次第、示したい。

一般競争入札は、手続きの客観性が高く、裁量の余地が少ない等のメリットがある反面、デメリットも併せ持っている。今後は、発注者が企業の施工能力、配置予定、技術者の能力、地域貢献等

子育て支援 今後の見通しは

問 身近に子どもを見ている親族がいない夫婦世帯や、共働き家庭などのため、地域で助け合う「ファミリーサポートセンター」の設置が急務だ。常駐の専門職員の配置、子どもを預かる援助会員

の評価項目により、建設業者の技術的能力を適切に審査・評価する、総合評価方式の導入について検討し、試行する方向で準備したい。

問 身近に子どもを見ている親族がいない夫婦世帯や、共働き家庭などのため、地域で助け合う「ファミリーサポートセンター」の設置が急務だ。常駐の専門職員の配置、子どもを預かる援助会員

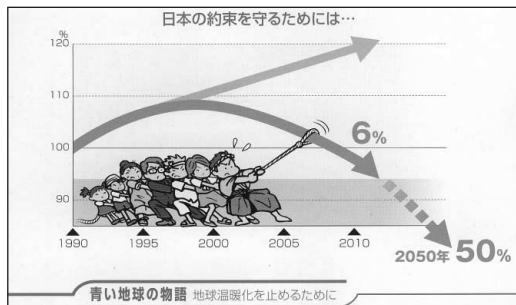
次世代育成支援 行動計画は 今年度中に策定

市長 サポートセンターを設置する方向で、す

に担当課で実施自治体を視察し、実施状況の調査をしている。来年度の設置を目標に、準備を進める。

次世代育成支援行動計画は、今年度中に策定して事業の推進を図る。

「資料提供」
全国地球温暖化防止活動推進センター



豊富地区生徒の 玉穂中学校転入学は

ほか1件



大沼 芳樹 議員

大沼議員 豊富地区の中
学生は、旧中道町の笛南
中学校に通学しているが
合併に伴い、通学地域を
変更しなければならぬ
中間答申があったと聞くが
内容は。

豊富浅利地区内の県道は、
大型トラックなどの交通
量が多く、通学に危険が
伴う。歩道も狭く、整備
が必要な道路だ。玉穂地
区の万年橋の改修完成は
いつになるのか。安全な
通学ができるのか。

△ 通学の安全に 努力する

市長 豊富地区の生徒を
玉穂中学校に転入学させ
るための検討委員会から
四回の協議を経て、三月
十五日に教育委員長あてに
中間答申をいただいた。
万年橋の完成は、中北建
設事務所によると、平成
二十年度になる。子ども
たちの通学の安全を期す
ため、精一杯努める。
比志教育長 中間答申では
二十年度より順次、玉穂
中学校へ転入学すること

Q 中央市の農畜産 物を給食に

問 豊富地区は「た・から」、
豊富地区は「道の駅」と
とみ」に農畜産物の直売
所があり、保育園・小学
校の給食の食材としても

△ 地産地消の 観点で対応

市長 地産地消の観点から
できる限り地元の農畜産
物を使うよう、栄養士を

通して指導している。
教育長 学校給食には、
中学生は二八〇円、小学
生は二四〇円と費用の制
約があり、すべてをとい
うわけにはいかないが、
今後も、努力を続けてい
きたい。

Q 食育について



保坂 武 議員

保坂議員 体と心を作る
のは、まず食からだ。
過日の新聞によると、
食育を県民運動として広
げるために、食料や教育・
医療などの関係団体による
県食育推進協議会が設立

育を進めている。食への
関心が高まり、バランス
良く、好き嫌いなく何で
も食べて、元気な子ども
に育ってもらいたい。
学校給食用牛乳供給事
業を、大いに活用してい
ただきたい。検討をお願
いする。



学校給食（豊富北小）

△ 学校給食用牛乳 供給事業を活用

市長 食育推進基本計画で
六月を食育月間とし、毎
月十九日を食育の日と定め
普及啓発活動を行っている。
毎日、朝食を取ることに
重要性、食育は健康づく
りの基礎となること、ま
た子どもに食育の理解を
高める観点から、重点的
に栄養職員をはじめ先生
方に指導をお願いしている。
学校での取り組みとして、
保健家庭科での食育教育
社会科授業での学習、地

元食材、郷土食の給食を
実施している。
学校給食用牛乳供給事
業としては、玉穂中学校
では、骨密度測定、給食
調理員による紙パックリ
サイクル工場の視察、豊
富小学校では、酪農場の
訪問等を行っている。よ
り多くの学校で、このよ
うな事業を活用するよう
に各学校にお願いしてい
きたい。

総務 教育

常任委員会

(6月22日)

付託された一般会計補正予算・条例制定等を審査し、原案を可決すべきものとした。

▼一般会計補正予算

問 農林水産業債のアロケーション分の内容は。

答 豊富地区農道7mの内2m分の負担金。

問 公園管理費の水道管修理の場所は。

答 若宮公園からバーベキュー場への水道管の漏水修理。

問 一般管理費の委託料の内容は。

答 カインズとの訴訟に伴う弁護士への手付金。自治振興費の補助金

レポート

若宮公園バーベキュー場
(豊富地区)



の交付先は。

答 大田和自治会と山王自治会へ交付する。

問 交通安全対策費の委託料の内容は。

答 市内を循環するコミユニティバスが必要かどうかの調査委託料。

問 学校施設整備費の備品購入費増額の理由は。

答 工事費と備品購入費を一括で予算計上されており、工事費が増額となったため。

問 命の大切さを学ぶ体験活動推進事業等国・県からの補助金が無くなった場合、事業継続は。

答 補助金が無くなつて

も、事業は続けていく。

▼中央市議会政務調査費の交付に関する条例制定

問 政務調査費の月一万円の根拠は。

答 近隣の市町を参考にした。

問 政務調査費残金の返

厚生

常任委員会

(6月25日)

付託された一般会計、特別会計補正予算・条例改正等を審査し、原案を可決すべきものとした。

▼一般会計補正予算

問 介護保険費、地域密着型サービス拠点等施設整備事業補助金の内容は

答 対象地区を玉穂地区と定め、認知症対応型の共同生活介護施設、地域密着型の老人保健施設建設のための、サービス事業者への補助金。

問 中央道の振動調査をし、問題が出た場合の対応は。

答 基準値を超えた場合は、道路管理者に対応の要請を行う。

還時期は。

答 毎年四月に収支報告書に基づき返還を行う。

問 収支報告書提出の時期は。

答 毎年四月に前年度分の報告書を提出する。

不法投棄対策



問 不法投棄への対策は

答 環境パトロール等で巡回し、対応している。

問 遊休地等の雑草対策は。

答 ひどい場所については、除草等の勧告をし、それでも従わない場合には、市で除草作業を行い、土地所有者から料金を徴収する。

収する。

問 障害者自立支援事業委託料の対象は。

答 サービス事業者と、市が対象となっている。

▼地域包括支援センター特別会計補正予算

問 地域包括支援センターの現状は。

答 保健師三名、事務一名で運営している。相談件数は四月一八件、五月一三二件。

▼国保税条例の改正

問 平均世帯でどのくらい国保税は増加するか。

答 旧豊富で平成十六年と比較して九%増、金額で約一万五千元。

問 国保税負担増について、説明する予定は。

答 八月の本算定までに広報紙でPR、納付書送付の際説明書を同封する。

問 国保税負担増の説明を住民にしっかりとしたい。

問 医療費の将来的な伸びへの対策は。

答 予防対策等を行い、医療費の削減に努力する

問 旧三町村においての医療費等の特徴は。

答 旧田富、旧玉穂地域

は若年者の加入者が多く、旧豊富では老年者の加入者が多い。

また、医療費については旧豊富地区が高い。

問 保育園費補助金の内容は。

答 園児の送迎用タクシーの補助金。

一年間で四九五、三六〇円の予定。利用者から二万四、〇〇〇円を負担金として徴収し、差額の四七万一、三六〇円を市で負担する。

問 タクシーを利用する理由は。

答 バス利用者が少ないこと、また財政的にも有利なため。

問 タクシー利用者が増えた場合の対応は。

答 送迎は保護者が行うのが原則であり、状況等を確認し送迎ができない場合にはタクシーでの送迎を行う。

問 児童館の補修について、シックハウス症候群等への対応は。

答 業者等と連携し、子どもに影響がないよう対応する。



付託された一般会計、特別会計補正予算等を審査し、原案を可決すべきものとした。

産業土木

常任委員会

(6月26日)

常任委員会

- ▼一般会計補正予算
- 問** 農業振興費の補助金の内容は。
- 答** サラダボールへの補助金で、販売検討会、啓発活動、遊休農地の賃貸借等の事業を行うもの。
- 問** 畜産業費の補助金の内容は。
- 答** 鎌田川改修にともなう、堆肥舎の移転費と転用に伴う登記料等。
- ▼土地区画整理事業特別会計補正予算
- 問** 区画整理分室の役割は。
- 答** 保留地の販売・PR・お客様の対応等。
- 問** 土地停止補償の根拠は。
- 答** 区画整理法に基づき補償している。
- 問** 土地停止補償の今までの総額は。
- 答** 一億四、六〇〇万円
- 問** 保留地販売の県外へのPRは。
- 答** 東京の県の施設へパンフレット等置いている
- 問** 保留地の価格を下げる考えは。
- 答** 現時点では、下げる考えはない。
- 問** 十一月以降の賃料三

議会のうごき

5月

- 2日 議会運営委員会
- 7日 西日向外三山恩賜県有財産保護組合議会
大畠山外七字恩賜県有財産保護組合議会
- 8日 各常任委員会合同研修会
- 9日 議会広報編集委員会
- 15日 各常任委員会合同研修会
議員協議会
- 16日 各常任委員会合同研修会
- 22日 各常任委員会合同研修会

6月

- 7日 関東市議会議長会定期総会
- 13日 議会運営委員会
- 20日 第2回定例会開会
一般質問
- 21日 一般質問
- 22日 総務教育常任委員会
- 25日 厚生常任委員会
- 26日 産業土木常任委員会
議員協議会
- 28日 第2回定例会閉会

7月

- 4日 日向山恩賜県有財産保護組合議会
山梨県後期高齢者医療広域連合議会
- 9日 都江堰市歓迎レセプション
- 11日 青木ヶ原ごみ処理組合議会
- 13日 甲府地区広域行政事務組合議運
- 19日 議会広報編集委員会
- 24日 甲府地区広域行政事務組合議会

- %の根拠は。
- 答** スーパー街区事業者と地権者との予約契約に基づくもの。
- ▼中央市道路線認定
- 問** 開発の場合による路線認定は。
- 答** 一、〇〇〇m以上の開発では、市道として路線認定する。
- ▼農業集落排水事業特別会計補正予算
- 問** 管路敷設工事の内容は。
- 答** 住宅新築に伴う管路敷設。

- 問** 管路敷設工事費二、五〇〇万円を一軒のためにかける必要があるのか、またもつと安価な方法はないのか。
- 答** 他の場所では、水道管、防火水槽等設置しており敷設が困難なため。
- 問** 農業集落排水の管路敷設工事について再度検討し、委員会へ報告願いたい。
- 答** 委員会終了後、農業集落排水事業の工事個所について現地確認を行なった。

各常任委員会合同研修会

本年4月の機構改革に伴う新たな事務分掌について、市長および各部局長から説明を受けました。



- 5月8日(火)総務部、教育委員会、会計課、議会事務局
- 15日(火)農政観光部
- 16日(水)建設部
- 22日(火)市民部、保健福祉部

市民の談話室



ギャップ

東花輪 芹澤ひろ子



「お母さん、食べるの遅くてごめんね」
当時六歳だった長女が、
つぶやくように言った言葉にハッとさせられた。その日、私は朝からいらして、

子どもたちをせき立てていた。
「いつまで食べてるの」と怒鳴りながら、まだ食べ終わっていない娘に背を向け、食器の片づけを始めた私に、彼女はそう言っ
謝ったのだ。ああ、またやつてしまった、と苦い思いで「お母さんこそごめんね」と繰り返して謝った。

三人の子どもの親となり、自分のペースで仕事がかどらないことに腹を立てるのは、四六時中のことであつたが、このよう
なことが繰り返されるたびに、子どもは子どもなりに母親のペースに追いつこうと、駆け足しているのだと反省させられた。私は母親である前に一人の人間なのだから、育児書どおりのいつも穏やかで、優しい母親ではいられないと自分に言い訳してみたものの、理想と現実のギャップにいつも悩まされ、その度に幾度もじんだを踏んだ時を経て私はいま五十七歳、子どもを理解し、信頼し、うるさく口を出さず見守ろうと思う。刺激を与えてくれる三人の子どもたちの存在は、かなり大きいものと感謝している。新しい葉に命を譲る「ゆずり葉」のように、子どもたちに全てを託そう。この原稿を依頼された日、長女から妊娠したとの嬉しい知らせが届いた。

中央市に住んで（高齢者の偶感）

成島 乙黒 春雄



ここ、中央市に住んで日ごろよく耳にするのは、「合併して市にはなったが、小回りがきかず、何のための合併か、生活にも不便を感じる」。こんな不満を折々聞きますが、元来、合併とは行政の簡素化と、人的経費の節減を図り無駄を省いて、税の効率化を目指すのが目的だと思っています。

国の行政も一部地方に移管し、事業の効率を高める意図も含まれておりましよう。ところが私たち市民側も、いまだ旧町村時代の固定観念から脱皮しきれず、慣習からの意識の改革が急務ではないでしょうか。ことに合併成果の促進には、過去にその地域を支え、こんにちの発展を成し遂げてきた高齢者の皆さんの、貴重な体験と豊富な知識を行政に反映させ、新市の発展に貢献する心構えが大きな要素になるのではないのでしょうか。

私たち住民が選んだ合併の制度、それを執行する為政者の手腕力量を、十分発揮しえる協力が必要です。

論語で言う「温故知新」の実践こそ、開発を進める新街区、生命を支える豊かな農地、情操を育む山紫水明の地域、これらの環境が渾然一体に溶け合う理想郷の確立が成ったとき、限らない力を蔵する中央市の姿が具現されるのではないのでしょうか。

編集後記

私は玉穂町から中央市へと議員活動を続けさせていただき、今年の十月で八年になります。縁あってそのすべてに、議会広報のポジションをいただけてきました。議会広報の役割は、市民お一人おひとりの負託を受けながら、それぞれの議員が取り込んできた議会の活動内容を「正確に公平に公開すること。そして一人でも多くの皆様に読んでいただける広報とはどんなものか」を考えながら、そのための提案を繰り返しつつ「新たな議会だより」を発行していくことではないかと考えます。

私たち委員が、難しい表現で、分かりやすく議会を紹介していくことで、市民の皆様の率直な意見もお寄せいただくようになり、市民との優れたコミュニケーション能力を備えた編集委員会が生まれます。その結果、なお一層多くの市民に読んでいただける議会だよりの発行ができるようになっていきます。

その視点に立つと、現在の「中央市議会だより」も変えていきたいところがたくさんあります。今期スタートした編集委員会は、「なんとなく発行される議会だより」を一步拓き、わくわくするような「殻を破った議会だより」を目指したいと思っています。メンバーは意欲的であり期待しています。メンバーは「何もしない私たちの前を、中央市の未来が過ぎ去っていくつてしまつ！」ことのないよう、努力してまいります。

ぜひ市民の皆様のご意見を、議会宛にメールなどお気軽にお寄せください。お待ちしております。

議会広報編集委員会

委員長 小池 満男
副委員長 野中つね子
委員 名執 義高 伊藤 公夫
一瀬 明 田中 健夫

「野中つね子」